月刊ばうむ

今月の紙面

さくら市でデザインコンペ開催
れいほく地域人ネット土佐天空の郷
第二五回地場産大賞、奨励賞受賞

読者テレフォン
0887・76・3355
ばうむ合同会社
http://www.baum-llc.com

さくら市でデザインコンペ開催。

ばうむが国際デザインビューティーカレッジとの協力で2年前から行っているデザインコンペが今年も新たに投票型のコンペとして2月3日から13日まで本山さくら市で開催された。展示運営は地域おこし協力隊で行い、受付は特に設けず、さくら市に来た人が気軽に入れるようになっている。以前はデザインカレッジとばうむが協力して開催しているコンペだったが、今年から地域おこし協力隊の美術部が企画に加わっている。その経緯は、協力隊のメンバーが、以前ばうむに見学に訪れた際に、独特な形状の作品があり、そこで初めてばうむがコンペを開催していることを知り、コンペの企画に加わるようになった。以前は作品の展示は行わず、11人の業務執行社員が審査を行い、その中から5点を選出し、総会にて「表彰」するというものだったが、今回は来場者が投票を行い、その入賞者の作品を元に実際に商品化を検討するというもので、生徒の絵コンテを全て展示するというものになった。そして、今回さくら市を会場としたのは、あらゆる年代層の人が集まり、町内や町外の人も多く集まる場ということで決まった。来場者の多くは本山町在住で、よくさくら市を利用する方々や、木工に携わる方、小さい子供をもつ主婦層だったが、中には土佐町から の来場者や、愛媛県の方の投票まであった。アンケートでは「雰囲気が変わった」や「実際こんな商品が欲しい」といった意見があった。そして2月15日には受賞者が決定し、3月1日の午後に表彰式が開催される。今回の企画に参加した協力隊メンバーは、「今回から来場者が投票するという形で開催し、学生や一般の方に投票してもらい、作品が商品になるということで新しい経験になったと思う。見に来て頂いた方にもデザインや木工製品に関心を持ってもらえたら良いなと思う。次回もさくら市のように人が集まる空間で開催したい」と嬉しそうに話していた。

さくら市で行われたデザインコンペ

れいほく地域人ネット

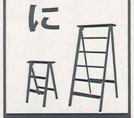
田岡 清さん

昭和35年1月5日生まれ、地元の小、中、高校を卒業後、昭和54年に本山町役場に入社。平成11年に退職し、現在は農業公社の非常勤をしながら地元吉延で米と生姜作りに日々励む。

「土佐天空の郷」としてブランド化へ

以前は地元農協に出荷をしていたが、米価が下がりはじめ、このままでは地元の米農家が危ないということで、青壮年部として地元産の米のブランド化に奮闘する。しかし道のりは厳しく、県外での知名度は低く、マーケット調査ではほとんど相手にされなかった。そして一度米の専門家に相談したところ、米自体は固いが、味があり、必ず消費者にうけるという評価をいただき、さらには農家のやる気に専門家もバックアップをし、高知県の産業振興計画の後押しもあって、ブランド化に向け再度進むこととなった。そして数々の研究を重ね、海洋深層水の散布や、食味分析器にかける、大きい粒だけを厳選するといった行程を行い、開始から5年目の平成20年6月にブランド化に至った。そして昨年静岡で開催された「お米日本一コンテスト」では土佐天空の郷「にこまる」が最優秀賞を受賞し、知名度、味共に高知県を代表する米となった。地元産の米がブランド化につながり、「本山町を全国に宣伝でき、本山町を知ってもらうと共に、消費者と生産者との交流もできた。今後は品質と生産量をおとさず増反につなげ、年間を通してお客様に提供していきたい。そして吉延営農組合として集落の農地を守り、いろいろな取り組みを行い、他との連携をとりながら少しでも農家の所得を上げたい。」嬉しそうに話していた。

小物陳列、ショップや部屋のイメージアップに



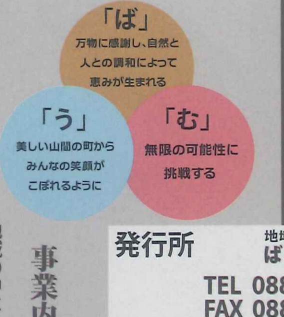
詳しくは下記の電話番号まで

お店の紹介などでもオッケー
月刊ばうむで何か伝えたいことはありませんか？

ばうむ合同会社設立一周年

二月三日にばうむ合同会社は設立一周年を迎えました。設立から一年、おかげさまで商品のラインナップや取り組み事業も拡大し、商品のお取引き先も増えました。これもひとえに皆様のおかげです。今年度はまだ準備段階の事業やイベント企画、新たな商品づくりにも力を入れ、地域活性化をはかるため、社員一同さらに頑張っていきたいと思います。

行動の原点
変化に期待するのではなく
己の力で未来を拓く



事業内容

地域の中にあるまだ十分活用されていない資源を活用することで、地域の中に雇用と所得を生み出し、持続可能な地域再生の実現を目指します。また、地域に残る豊かな自然環境を活用し、地域内外の人たちに安らぎを提供したいと思います。

発行所
地域の総合商社
ばうむ合同会社
TEL 0887-76-3355
FAX 0887-76-3365
〒781－3609
高知県長岡郡本山町助藤1372
（吉野川リビング協同組合内）

第二五回地場産大賞、奨励賞

今回約37の県内の企業や学校から応募があった「第二五回高知県地場産業大賞」。この中でばうむは高知県地場産業奨励賞を受賞することができた。「地場産大賞」とは、くろしお博覧会記念基金というものを基に、県の産業振興センターが毎年実施しており、高知県の販売実績を上げた商品や、産業振興に貢献した活動などを募集し、その中から表彰するというもので、産業大賞や計画賞、高校を対象とした次世代賞など5つの賞があり、2年前の第二三回地場産大賞には「れいほくスケルトン」が選ばれた。今回は、ばうむとしての活動が認められ、表彰されることとなり、2月7日には授賞式にも出席し、高知知事や優良企業との交流をした。この賞を受賞することにより、ばうむ合同会社としての活動が県に認められると共に、2月8日には高知新聞に取り上げられ、地場産大賞に応募をした企業や学校に宣伝できる良い機会となった。

地場産大賞の受賞式の様子

もくレース東京から神戸にも

今年の2月1日から4日間、東京港区のタブロイドという会場で「エクストラ プレビュー#2」という合同展示会が開催された。この展示会は主に、国内外のブランドを扱うメーカーが出店しており、来場者の多くは国内のショップ経営者や卸業者だった。ばうむのメンバーもその展示会に行き、あるメーカーブースにて、商品を展示してもらうこととなった。「展示してもらうことでいろいろなショップの方が見に来ていたのですごく良い宣伝になった。」さらに、展示して頂いたブースのショップが神戸で2月7日から10日まで開催する展示会に、もくレースも並ぶこととなり、東京にひき続き、神戸へも進出する日は近い。

本山小、環境教育実施

1月26日、本山小学校の体育館で、環境教育が行われた。環境教育とは地元の森林資源を活用し、次世代を担う子供たちに小さい頃から木などの自然に触れたり、環境の授業を通して現在の森林問題や地球環境の事を考えてみようという取り組みで、今回は小学6年生を対象に木工教室が行われた。木工教室で使われた木材は地元産の杉で、あたたかみがあり、加工が誰でも容易にできるということで使用されている。今回その地元産の杉で本棚を作った。釘を打つ作業で苦戦している生徒も多くいたが、それでも一生懸命釘を打っていた。中には完成したものにさらにサンドペーパーで角をとったりと工夫をこらす生徒もいた。今回の木工教室を通して木に触れることで、少しでも木のぬくもりや、木の良さなどを感じてもらえたのではないかと思う。

熱心に作業をする生徒と先生

本山町古田 集会所にピザ釜制作中

ピザ釜を作る協力隊メンバー

本山町内から車で15分ほどの場所に位置する古田地区。この緑豊かな地区の集会所にレトロなピザ釜が製作された。このピザ釜は地域おこし協力隊メンバーが製作しており、地域再生マネージャー斎藤氏の発案により企画された。本山町の清流館にも同じタイプのピザ釜があり、誰でも簡単に短時間で作れるということで、ピザ釜づくりが開始された。食材は地元産のものを使い、薪にいたるまで地元産にこだわり作る予定で、実際にピザ職人の方を呼んで地元の人を交えての講習会なども計画しており、3月の中旬には完成する予定。「地元の人がこのピザ釜を有効に使い、誰でも気軽にピザ釜を使ってイベントで提供したり、おきゃくなどでふるまうことができるようになればいいなと思う」と協力隊メンバーは話していた。

ばうむ 商品紹介

●詳しくはこちら
――ばうむ合同会社
TEL 0887-76-3355
FAX 0887-76-3365
www.baum-llc.com

ばうむの杉箸

1膳
税込価格：100円

森からの贈りもの

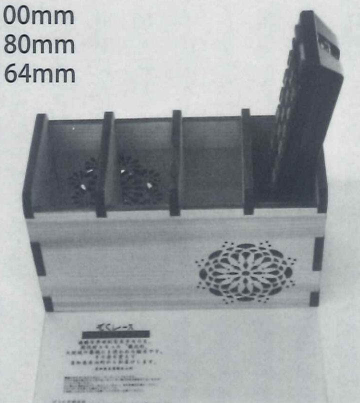
軽くて丈夫
なめらかな手ざわり
オーダーメイド可能

長さ 240mm
幅 14mm

▲ご連絡の上お見積もり致します。

もくレース リモコンラック

高さ 100mm
幅 80mm
長さ 164mm



税込価格：2,310円

サイドにレース調のデザイン
シンプルな杉の目が美しい
眼鏡置きにも最適
おしゃれ雑貨としてプレゼントにも